



立山砂防事務所が運行する「立山砂防工事専用軌道」において毎年1回、落石などの事故に備えて迅速に救助活動を行うための訓練を受講し、軌道の危険度及び事故発生時の対応を理解することを軌道利用の条件としています。これを受けて立山砂防事務所の職員と軌道に関係する工事や業務の受注者等を対象に軌道の事故対応訓練を実施しました。訓練は、過去の事故事例や自然災害で起こる被災事例、事故発生時の対応についての座学と、実際に事故が起きた場合を想定した実技に分けて行われました。実技訓練では負傷者の搬送に使用するレスキューシートやレスキューカートなどの取扱いや負傷者の搬送時の注意事項について再確認を行いました。

日時：令和8年5月28日（木）
9：00～11：00

場所：立山砂防事務所（会議室、軌道車庫内）
参加者：立山砂防事務所職員
軌道関係工事・業務受注者など約50名

—実施内容—

〔座学〕

1. 車両運搬中の事故と被災事例
2. 異常気象における警戒体制と基準
3. 軌道乗車中に事故が発生したら
4. 救助方法等について
5. 安全管理の取り組みについて

〔実技〕

1. レスキューカートの組み立て
2. 人車から怪我人搬出
3. レスキューシートによる搬送
4. レスキューカート搬送
5. モーターカー搬送



実技の様子



完成形

レスキューカートは千寿から水谷までの軌道区間内に全部で11台配備しています

1. レスキューカートの組み立て



ロックする箇所を忘れずに組み立てる

2. 人車から怪我人搬出



レスキューシートの組み立て



負傷者の脚から先に搬出



負傷者をシートに乗せる

5. モーターカー搬送



カートからモーターカーへ搬入



搬入完了

4. レスキューカート搬送

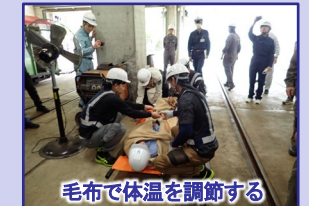


負傷者を乗せる方向に注意



持ち手側から押して搬送

3. レスキューシートによる搬送



毛布で体温を調節する



負傷者の様子を見ながら搬送



三次搬送へ引継ぎ



軌道レールにはめて運ぶ



座学の様子

講師：寺崎総括保全対策官

会場の様子